執筆者紹介

藤井啓司	同志社大学教授
奈倉洋子	愛知県立大学助教授
BERNDT, Jaqueline	理工学部常任講師
市川明	大阪外国語大学助教授
森川進一郎	神戸商船大学教授
金子英雄	理工学部助教授
PEATY, David	文学部助教授
赤澤史朗	法学部教授

「立命館言語文化研究」4巻5号「DDR文学研究特集」
正誤表

執筆者紹介	誤	正
藤井　啓司	同志社大学教授	同志社大学講師
BERNDT, Jaqueline	理工学部常任講師	理工学部常勤講師
森川進一郎	神戸商船大学教授	神戸商科大学教授

『立命館言語文化研究』応募原稿の「執筆要項」より

1　**応募資格** ― 本学専任教員、および編集委員会が認めたものとする。

2　**原稿枚数** ― 200字100枚程度とする。ただし、書評は、200字30枚程度とする。なお、欧文原稿については、上記のページ数に相当する枚数とする。

3　**原稿用紙** ― 日本語の場合は、研究所所定の用紙を使用する。

ワープロを使用する場合は、38字×32行を1ページとして、上記のページ数に相当する枚数とし、プリント・アウトしたもの1部、およびフロッピィ・ディスク（機種を明記の上）を提出する。

4　**原稿の種類** ― 論文（特集論文、および個別論文）、研究ノート、フォーラム、書評および編集委員会の依頼したものとする。（翻訳原稿については、外国人の講演・寄稿などで、編集委員会が適当と認めたものに限る。）

5　**原稿提出** ―

(1)　原稿は完全原稿を提出すること。

(2)　締切日をすぎた原稿は受け付けないことがある。

(3)　原稿は、研究所所定のタイトル用紙を添えて、編集委員会または研究所事務室まで提出すること。

6　**要約について** ― 論文には「要約」を付けることが望ましい。その場合には、和文原稿には欧文、欧文原稿の場合には和文の要約をつける。用いる言語は執筆者の選択によるものとする。

7　**校正** ― 執筆者校正は、3回までとする。再校以降の文章の訂正、加筆は認めない。

⋮

11　**その他** ― その他必要な事項については、編集委員会の議を経て、運営委員会で決定する。

（運営委員会 '91年6月確認）

詳細は国際言語文化研究所へお問い合せ下さい